208mm A

取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ガラスマットに触れると皮膚、目、喉や鼻などに痒みや痛みを引き起こすことがあります。
- 長袖、手袋、保護眼鏡及び防塵マスクを着用してください。
- 作業後、うがいを行ってください。
- 切断したくず等は、袋に入れて飛散に注意してください。
- 作業着は他の衣類とは別にして洗ってください。
- 痒み、痛みが続く時は医師の診断を受けてください。

保管

- 降雨等の水が付着したり、結露や夜露で濡れたガラスマットは樹脂が未硬化の原因となりますので、使用しないでください。
- 不完全な梱包により、製品が汚れる場合があります。きちんとした梱包状態で保管してください。

硬化剤

応急処置

目に入った場合

- 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合

- 硬化剤が付着した衣類や靴を脱ぎ、溶剤でよく拭き、石鹸を用い水でよく洗い流してください。炎症が生じた場合は医師の診断を受けてください。

吸入した場合

- 新鮮な空気の所に移動し、安静にして状態が悪ければ医師の診断を受けてください。

飲み込んだ場合

- 誤飲した場合は、下記の通り意識がある場合とない場合とでは応急措置法が異なりますので注意してください。
  意識がある場合: すぐに口をすすいだ後、水もしくは牛乳を飲ませ医師の診断を受けてください。
  意識がない場合: 絶対に飲ましたり吐かしたりしてはいけません。呼吸の有無を調べ、気道を確保し、横向けに寝かせ、医師の診断を受けてください。

火災時の措置

消火方法

- 直ちに消防署に通報する。
- 初期火災の場合は消火器等を使用して消火し、材料等は安全な場所へ移動する。
- 本格的な火災の場合は容易に消火できません。また爆発の危険があるので、近寄らず避難してください。

消火器等

- 棒状の水、泡消火器、粉末消火器、強化液、乾燥砂、水噴霧等。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 皮膚、目に触れないように保護眼鏡、保護手袋を着用してください。
- 金属類、促進剤（コバルト、ジメチルアニリン等）、アミン類、酸、アルカリ、金属化合物、その他還元性物質との接触を避けてください。
- 一般薬品と混合させないでください。
- 火気や高熱発生の場所では取り扱わないでください。
- 硬化剤を取り扱う機器の材質は、プラスチック(ポリエチレン) 等を用い、鉄、銅 合金、鉛、ゴムは避けてください。
- 硬化剤を小分けした場合は、元の容器に戻さないでください。異物混入となり発火の原因になります。
- こぼした場合は、ウエス等で拭き取り、水を入れた空き缶に入れて産廃処理してください。大量にこぼした場合は、砂・土に吸収させ産廃処理をしてください。排水口などに流さないようにしてください。

保管

- 火気厳禁
- 容器に漏れのないことを確認する。冷暗所にて保管し、火気を近づけない。危険物倉庫で保管し、危険物分類が異なる危険物と一緒に置かないでください。
- 冷暗所に保管してください。
- 金属類と薬品(強酸、アミン、アルカリ、金属化合物、その他 還元性物質)と同じ場所に置かないでください。
- 転倒、転落防止措置をしてください。
- 横置き逆さ置きにしないでください。

FRP防水使用材料の危険物分類表

品名	危険物の分類	指定数量
プライマー	第４類第１石油類	200ℓ
	第４類第２石油類	1000ℓ
防水用樹脂	第４類第２石油類	1000ℓ
仕上塗料	第４類第１石油類	200ℓ
	第４類第２石油類	1000ℓ
硬化剤	第５類第２種自己反応性物質	100kg
洗浄剤（アセトン）	第４類第１石油類（水溶性）	400ℓ

＊異なる類別の危険物を同一の場所に保管する事はできません。＊指定数量未満の危険物でも市町村条例により「少量危険物」となり、消防署長に届け出なければなりません。

210mm B

正会員

シーカ・ジャパン株式会社
双和化学産業株式会社
大泰化工株式会社
日豊化学産業株式会社
三井化学産資株式会社

準会員

オーウェンスコーニングジャパン合同会社
カネカケンテック株式会社
化薬ヌーリオン株式会社
川口薬品株式会社
公進ケミカル株式会社
ジャパンコンポジット株式会社
セントラルグラスファイバー株式会社
DIC株式会社
TOMATEC株式会社
日油株式会社
日東紡績株式会社
日本ユピカ株式会社
株式会社レゾナック

協賛会員

株式会社Lumikha

（社名五十音順）

FRP防水材工業会
〒108-0073 東京都港区三田3-1-9　大坂家ビル5F
TEL: 03-5419-3941 / FAX: 03-5419-3943
HP: http://fbk-bousui.jp

210mm C

FRP 防水工事における

安全な作業をするために！



208mm D

FRP防水を安全に施工するための注意点

防水用樹脂

応急処置

目に入った場合

- 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合

- 樹脂が付着した衣類や靴を脱ぎ、樹脂が付着した部分を溶剤でよく拭き、石鹸を用い、水でよく洗い流してください。
  炎症を生じた場合は医師の診断を受けてください。

蒸気・ガスを吸い込んだ場合

- 新鮮な空気の所に移動し、安静にして状態が悪ければ医師の診断を受けてください。

樹脂を飲み込んだ場合

- 無理に吐かせないで、医師の診断を受けてください。

火災時の措置

消火方法

- 直ちに消防署に通報する。
- 消火をする場合は、消火器等を使用して消火し、材料等は安全な場所へ移動する。
  消火作業の場合は保護具を着用する。

消火器等

- 泡消火器、粉末消火器、二酸化炭素消火器、乾燥砂、水噴霧等。

漏出時の措置

- 布や砂等で直ちに拭き取り、容器に収納する。川、下水、排水路に流さないでください。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火気、静電気、火花などの着火源を生じないように注意する。保護具(眼鏡、ゴム手袋、防毒マスク)を着用し、換気の良い場 所で作業する。容器を転倒、落下させたり、衝撃を加える等の乱暴な取扱いを行わないでください。

保管

- 火気厳禁
- 容器に漏れのないことを確認する。冷暗所にて保管し、火気を近づけない。危険物施設で保管し、危険物分類が異なる危険物と一緒に置かないでください。

硬化剤入り樹脂の措置

- 残余の硬化剤入り樹脂は発熱し、自然発火する恐れがありますので、作業後は速やかに水を入れ安全を確かめた後、産廃処理をしてください。

屋内作業
（浴室・浴場、厨房、各種水槽類、タンク、ピット類で、通風が不十分な場所）

FRP防水樹脂に使われているスチレンモノマーは「特別有機溶剤」に該当するため、屋内作業に於いては下記の措置を実施してください。

健康診断の実施

- 6ヶ月以内ごとに1回、スチレン等有機溶剤の特殊健康診断を受けてください。

作業環境測定

- 作業環境測定を行ってください。(工事期間3ヶ月未満を除く)

特定化学物質作業主任者の選任

- 有機溶剤作業主任者技能講習を修了した者から選任してください。

掲示

- 取扱い上の注意事項について、作業する労働者が見やすい場所に掲示を行ってください。(掲示事項は、名称、 取扱い上の注意事項、人体に及ぼす影響、使用すべき保護具)

作業記録の保存

- 労働者氏名、作業概要と時間、汚染されたときの概要と応急措置内容を30年間保存してください。

換気(有機溶剤中毒予防規則の措置内容)

- 作業場所、業務内容に応じて、換気装置を設置してください。

保護具(有機溶剤中毒予防規則の措置内容)

- 防毒マスク（有機溶剤作業）または送気マスクを使用してください。

ガラスマット

応急処置

目に入った場合

- 清浄な水で洗ってください。痛みが続くようであれば医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合

- こすらずに流水で洗い流してください。その後、石鹸等にて洗浄し、清浄な水で洗い流してください。
  もし異常が続く場合は、医師の診断を受けてください。

吸入した場合・飲み込んだ場合

- 清浄な水でうがい、洗浄等を行い除去してください。異常が続く場合は、医師の診断を受けてください。

208mm D' 210mm C' 210mm B' 208mm A'

FRP 防水を安全に施工するための注意点

防水材料取扱上の注意点

こぼした時の適性処理





付着注意



樹脂硬化剤が皮膚に付着したら
洗剤でよく洗ってください。



眼に付着した際には流水でよく洗顔し
医師の診察を受けてください。

装備

- ヘルメット
- 保護眼鏡
- 防毒マスク
- 長袖衣類
- 保護手袋
- 安全靴

貯蔵管理



直射日光はさけ、逆積・横積・山積は
しないでください。

安全管理



可燃物や他の危険物とは
別々に保管してください。

安全計量



計量容器は、
ポリカップ又はピペットを
使用してください。
（金属容器は使用厳禁）

閉め忘れ厳禁



ほこりや異物混入に注意
（特に金属系材料）



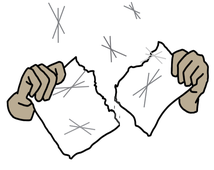
小分けにしない

誤飲防止



硬化剤を清涼飲料水等の
容器に入れない

飛散注意



ガラスマット取扱上の注意点

装備



- ヘルメット
- 保護眼鏡
- 防塵マスク
- 長袖衣類
- 保護手袋

ガラスマットとの直接の接触は
極力避けましょう
水濡れ厳禁

防水作業上の注意点

火気厳禁

カンバン設置



泡消火器



万一火災が発生した場合は
泡消火器、粉末消火器、
二酸化炭素消火器、乾燥砂
等で初期消火に努めてくだ
さい。同時に１１９番通報を
行なってください。

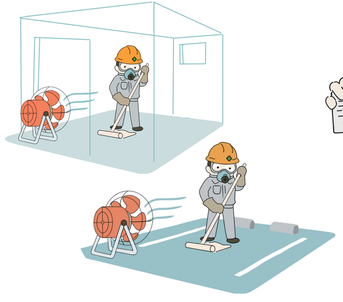
タバコ注意



溶接注意



安全・換気



防毒マスク等の保護具を着用して作業しましょう。

監視監督



法定資格を持つ
作業主任者を選任しましょう。

酸欠注意



換気の悪い作業場では、「許可者以外立ち入り禁止」の
標識を掲げましょう。
空気呼吸器や、エアラインマスクを備えましょう。

廃棄処理

発火注意



硬化剤入り樹脂は作業後できるだけ残余物が少なくなるようにしてください。
残余の硬化剤入り樹脂、不要になった硬化剤や樹脂の染み込んだウエス、
研磨くず等はそのまま放置すると発火する危険性があります。
速やかに水をはった容器に漬け安全を確かめた後、産廃処理をしましょう。

落下注意

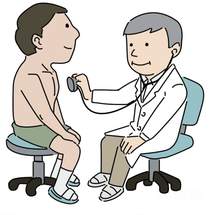


飛散注意



周辺に迷惑をかけないようにしましょう。

健康診断



定期的に特殊健康診断を受けてください。